

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			2・東書	第3学年・公民	公民・901
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本で暮らす外国人の数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動の体育館利用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、社会保障給付費の財源の内訳について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、日照権に配慮したマンションについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の難民発生数について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、個人の尊重と日本国憲法の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本国憲法で保障されている人権について調べ、人権上の課題の解決策について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 35 ページ、「私たちと経済」は 52 ページ、「私たちと政治」は 90 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 40 ページ、「その他」は 38 ページであり、総ページ数は 255 ページで、前回より 3 % 増となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「導入の活動」で、単元の学習課題を立て、学習内容への興味・関心を高める活動や、「まとめの活動」で、学習内容を整理しながら単元の学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、立体感や陰影のある表現を省いたデザインを取り入れたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、旭川市のアイヌ語の地名表示板や国立アイヌ民族博物館などが取り扱われている。北方領土については、「領土をめぐる問題の現状」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、「Dマーク」(QRコード)が掲載されており、広島市の平和記念式典の動画や、地理的分野や歴史的分野や他教科の誌面などを学習に活用できるようにするとともに、「地方自治と私たち」の学習において、インターネットを使って身近な地域の課題を探す方法を紹介するなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、各単元の導入部に「小学校で習ったことば」を設定し、小学校の学習を振り返る活動を位置付けるなど、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、章末に架空の市の自転車の使用ルールなどについて複数の立場から解決策を考えさせる「まとめの活動」を設定するとともに、様々な選挙制度がある理由などについて考えさせる「見方・考え方」や、持続可能な社会の実現に向けて重要と考えたことを交流するなど対話的な活動を行う「みんなでチャレンジ」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、「集める」「読み取る」「まとめる」を視点とした発問を掲載するとともに、需要・供給曲線の読み取り方などを説明する「スキルアップ」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、学習した用語を用いて単元の課題解決を行う「基礎・基本のまとめ」を設定するとともに、学習した内容に関連する知識を振り返ったり、説明したりする「見方・考え方」や「チェック」「トライ」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		17・教出	第3学年・公民	公民・902	中学社会 公民 ともに生きる
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、外国資本の大型家具店について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、ごみ収集所の設置場所の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、段差が少ない路面電車の乗降口について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の育児休暇取得率の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、18歳選挙権の実現について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが設立した学校について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、私たちの暮らしと経済の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、消費生活と経済活動について調べ、暮らしにおける経済活動の意味について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 26 ページ、「私たちと経済」は 64 ページ、「私たちと政治」は 90 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 44 ページ、「その他」は 40 ページであり、総ページ数は 264 ページで、前回より 6 % 増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 倶知安町の条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、千歳市の手話で通話できる公衆電話ボックスの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習のはじめに」で、章全体の学習課題をとらえ、学習の見通しをもつ活動や、「学習のまとめと表現」で、学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウトを取り入れたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、民族共生象徴空間「ウポポイ」の完成予想図やニセコ町の人口増加のための取組事例などが取り扱われている。北方領土については、「日本の領土をめぐる」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、「まなびリンク」(QRコード)が掲載されており、内閣府などへのリンク集を学習に活用できるようにするとともに、「地方自治と住民の参加」の学習において、インターネットを使って身近な地域の課題を探る方法やプレゼンテーションソフトを使った発表方法を紹介するなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、見開きの脚注に小学校で学習した内容及び学年を掲載し、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、「新しい人権」などのテーマについて複数の立場から解決策を考えさせる特設ページ「言葉で伝え合おう」を設定するとともに、各章のはじめに単元の学習内容に関する対話的な活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、需要・供給曲線の読み取り方などを説明する「公民の技」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、章のテーマについて学習したことを参考に説明する「学習のまとめと表現」を設定するとともに、学習した内容に関連する知識を振り返ったり、説明したりする「さらにステップアップ」や「確認」「表現」を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			46・帝国	第3学年・公民	公民・903
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるように、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、授業を受けている外国籍の子どもたちについて、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、マンションの騒音問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、パン屋の起業に関する事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、景気の変動と財政政策の例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、夫婦別姓の議論について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、少年議会の取組について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、国別二酸化炭素排出量について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、民主政治の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国の政治の仕組みや地方自治について調べ、民主政治を発展させるために必要なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 26 ページ、「私たちと経済」は 64 ページ、「私たちと政治」は 80 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 40 ページ、「その他」は 25 ページであり、総ページ数は 235 ページで、前回より 1% 増となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 旭川市の旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、ゆうばり国際ファンタスティック映画祭の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習の前に」で、イラストを読み解き、学習の見通しをもつ活動や、「章の学習を振り返ろう」で、学んだことを振り返って整理する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、旭川市の旭山動物園条例や国会で発言する萱野茂議員などが取り扱われている。北方領土については「領土を巡る取り組み」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、二次元コード（QRコード）が掲載されており、「NHK for school」の動画や、章末問題の解答などを学習に活用できるようにするとともに、「課題の探求」において、情報収集方法の例としてインターネットを使った検索を紹介するなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、各章の「学習の前に」で小学校の学習と関連する資料や、見開きの脚注に小学校で学習した内容を掲載し、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、マンションの騒音問題などのテーマについて複数の立場から解決策を考えさせる特設ページ「アクティブ公民」を設定するとともに、社会に見られる課題における賛成・反対の意見例を掲載したコラム「Yes No」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、新聞の読み取り方などを説明する「技能をみがく」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、「章の問い」に対する説明をする「章の学習を振り返ろう」を設定するとともに、見開きに一単位時間で学習した内容に関連する知識を振り返ったり、説明したりする「確認しよう」「説明しよう」を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			116・日文	第3学年・公民	公民・904
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、AIを活用した無人店舗について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、クラス対抗合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、自動車会社で働く人の事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、生活保護受給世帯数の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病訴訟について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、裁判員裁判シミュレーションについて、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、現代社会の特色の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、日本の伝統文化の特徴と多様性について調べ、日本の文化を受け継いでいくために大切なことについて話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は28ページ、「私たちと経済」は54ページ、「私たちと政治」は88ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は45ページ、「その他」は42ページであり、総ページ数は257ページで、前回より3%増となっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 旭川市旭山動物園条例を取り上げ、北海道の事例から地方議会の役割を考察できるようにしたり、帯広市の馬文化祭りの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「学習の始めに」で、学習課題の解決の手がかりとなる見方・考え方をとらえる活動や、「チャレンジ公民」で、現代の社会の課題について考察・構想する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ふりがなをゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、旭川市旭山動物園条例や国会で発言する参議院議員であった萱野茂議員などが取り扱われている。北方領土については「日本の領土をめぐる問題」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、「デジタルマーク」(QRコード)が掲載されており、自動車の自動運転実験の動画や、ワークシートなどを学習に活用できるようにするとともに、「私たちの課題」において、情報収集方法の例としてインターネットを使った検索を紹介したり、プレゼンテーションソフトを使った発表のポイントを説明したりするなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、各章の導入部の脚注に小学校で学習した内容を掲載し、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、裁判員裁判シュミレーションなどの活動を通して、複数の立場から解決策を考えさせる特設ページ「明日に向かって」を設定するとともに、各章のはじめに単元の学習内容に関する対話的な活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、新聞の読み取り方などを説明する「情報スキルアップ」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、学習内容に関係する言葉の意味を説明させる「学習の整理と活用」を設定するとともに、各見開きに一単位時間で学習した内容を説明する「確認」を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
			225・自由社	第3学年・公民	公民・905
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、中学校の体育館使用問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、均衡価格の決定の仕組みについて、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、公共事業予算の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハローワークでの求人情報の検索について、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、裁判員制度について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の人口予測について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、世界と日本の安全保障の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国際平和協力活動への取組について調べ、私たちにできる国際平和への貢献について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列については、「現代日本の自画像、個人と社会生活」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 42 ページ、「私たちと経済」は 44 ページ、「私たちと政治」は 78 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 60 ページ、「その他」は 37 ページであり、総ページ数は 261 ページで、前回より 17% 増となっている。</p>				
使用上の配慮等	<p>○ 2018年9月に発生した北海道地震を取り上げ、北海道の事例から地方自治と防災を考察できるようにしたり、「二風谷アットゥシ」の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章や単元の冒頭で、学習課題や学習内容を見通す活動や、「学習のまとめと発展」で、学習したことを振り返る活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、各単元の重要語句をゴシック体にしたりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>				

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、伝統工芸品として「二風谷アットゥシ」が取り扱われている。北方領土については、「もっと知りたい わが国の領土問題」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、特設ページ「探求の課題」において、情報収集方法の例としてインターネットを使った検索を紹介するなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、聖徳太子など、小学校で学習した人物を取り上げ、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、魅力あるまちづくりについて、複数の立場から解決策を考えさせる特設ページ「アクティブに深めよう」を設定するとともに、特設ページ「探求の課題」でディベートを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、特設ページで新聞の読み比べの活動を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、選択した課題に対する考えを400字程度でまとめさせる「学習のまとめと発展」を設定するとともに、見開きに一単位時間で学習した内容に関連する知識を振り返る「ここがポイント」コーナーを設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	

観点	番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
		227・育鵬社	第3学年・公民	公民・906	[最新] 新しいみんなの公民
取扱内容	学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標が達成できるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、浴衣の帯の結び方を学ぶ外国人たちについて、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、昼休みのグラウンド使用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、コンビニエンスストアの経営に関する事例について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、日本の国民医療費の負担構造について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、特急列車の中の多目的トイレについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、基本的人権を中心とした人間の尊重の考え方や法の意義を理解したり、衆議院議員一人当たりの有権者数について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、2050年の人口予測について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、民主政治のしくみの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、選挙の仕組みや国民の政治参加について調べ、投票率の向上に向けた対策について話し合い、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。</p>			
内容の構成・排列、分量等		<p>○ 内容の構成・排列については、「私たちの生活と現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p> <p>○ 内容の分量については、「私たちと現代社会」は 28 ページ、「私たちと経済」は 52 ページ、「私たちと政治」は 80 ページ、「私たちと国際社会の諸課題」は 43 ページ、「その他」は 45 ページであり、総ページ数は 248 ページで、前回からの増減はなしとなっている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ SDGs 未来都市であるニセコ町や下川町を取り上げ、北海道の事例から持続可能な社会の構築を進める地方自治体を考察できるようにしたり、根室市花咲港のサンマの水揚げの写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 各章の「入り口」で、章全体の学習内容をとらえる活動や、章末の「これから」で、学習内容を基に社会に見られる課題の解決に向けて構想する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい色の使用や表示を工夫したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			

<p>指導上の 配慮等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域素材については、知里幸恵や江差町の姥神大神宮などが取り扱われている。北方領土については、「日本の領土をめぐる問題」などで取り扱われている。 ○ ICTの活用については、「憲法のこれから」や「よりよい社会をめざして」において、インターネットを使った検索やプレゼンテーションソフトを活用した発表方法を紹介するなどの工夫がなされている。 ○ 小中連携による指導については、各章の扉で小学校の学習内容に関するキーワードを掲載し、中学校の公民の学習に円滑に接続できるよう配慮がなされている。
<p>本市生徒の 学習の状況等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会的事象の意味や意義について多面的・多角的に考察する力を育むことができるよう、昼休みのグラウンドの使い方などについて、複数の立場から解決策を考えさせる特設ページ「やってみよう」を設定するなどの工夫がなされている。 ○ 複数の資料から適切な資料を選択したり、資料を関連付けて情報を読み取ったりする力を育むことができるよう、KJ法による資料の分類の仕方などを説明する「スキルアップ！」のコーナーを設定するなどの工夫がなされている。 ○ 既得の知識を関連付けて学習内容を深く理解し、概念などに関する知識として獲得することができるよう、章末に、学習内容に関わる事象について自分の考えを説明させる「学習のまとめ」を設定するとともに、見開きに一単位時間で学習した内容に関連する知識を説明する「学習のまとめ確認」を設定するなどの工夫がなされている。
<p>その他</p>	